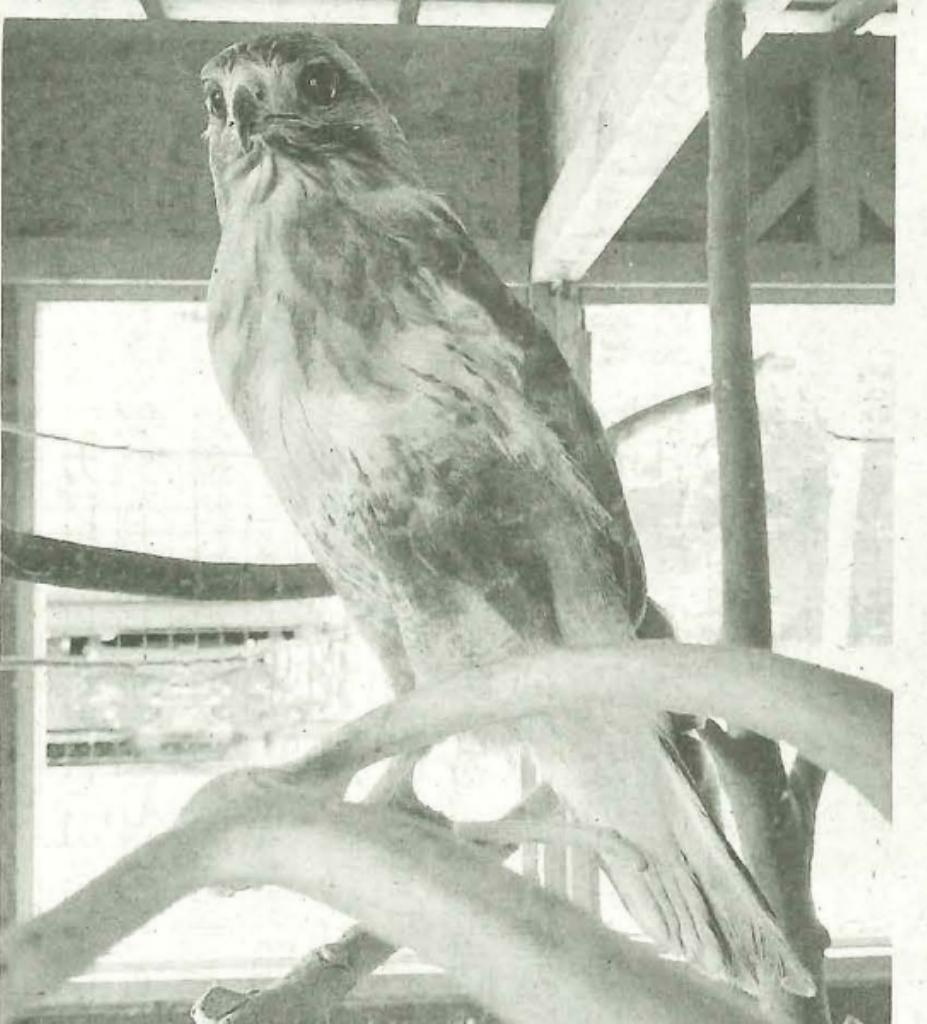


ノスリの「葡萄」（須坂市動物園提供）



飼育員 日誌

長野・須坂市動物園



ノスリの「葡萄」（性別・年齢不明）は須坂市内でケガをしているところを保護されました。飼育

猛禽類 適度な距離感がいい

していれば飼育員に慣れるかと思
いきや、担当飼育員のことは嫌い
です。なぜなら、毎日獣舎に入っ
てきて掃除をしたり、時には捕獲
されて伸びすぎた爪やくちばしを
整えられるからです。

実は葡萄が餌を食べている瞬間
は数回しか見たことがありません。
お客様の前では食べている
ようですが、飼育員には無防備に
なる食事シーンを見られたくない
ようです。

飼育員は他の猛禽類からも嫌わ
れています。イヌワシには飛びか
かれそうになり、トビには餌を
渡した途端にあっちへ行け！ と
鳴かれ、シロフクロウには近づけ
ばシャー！ と怒られ、ハヤブサ
は飼育員に見られるのも嫌がりま
す。

毎日世話をしているからといっ
て好かれるわけではありません。
嫌われても動物が毎日健康で元気
に過ごし、適度な距離感で接する
ことができれば、それがいちばん
良いのです。

（ノスリ担当 笹島優里華）